

ROCK & GUITAR

ロック&ギター

●ロック・ギタリスト
～E・ギターのすべて!!

- ギタリスト・サウンド分析100人
- ジェフ・ベック・ストーリー
- ロック用語辞典
- ギター・ベスト・アルバム30
- レコード・コピー・テクニック
- ロック・ギター・アドリブ講座
- E・ギター、アンプ紹介カタログ
- ギター・アタッチメント・カタログ
- ギタリスト・インタビュー
- ロック歴史ストーリー
- E・ギター歴史ストーリー
- アメリカ・ウェストコースト・ギター・ルポ

★付録★ 竹田和夫, 山岸潤史 が弾く必殺プレイテクニック
アドリブ・マスター・レコード

定価 980円



Hi Anderson

国産オリジナル・ギターの中でもいち早く注目を集めたのが、このブランド。リンゴの型をしたギター、弦巻きがボディ側に取付けられたギターなど、アイデアの豊富さについてはまず天下一品だろう。開発当初では、高額モデルが中心だったが、最近では、ロウ・プライスのモデルにも着手しており、モデル数も増えている。

オリジナル・モデルがまず注目を浴びたが同時にコピー・モデルもいくつかある。しかしデッド・コピーではなく、ポイントごとにオリジナルティを加えていくというしだいで個性を作り出している。ギブソン社の幻の名器「モダン」コピーを発表しているのもこのブランドだ。

仕上げの丹念さにも定評があり、プレイヤービリティに富んだブランドのひとつだろう。

●H・Sアンダーソン「HS-A2」 ¥150,000



話題を呼んだオリジナル・モデル。

木目をうまく生かしたボディはアレニクスのギターにも通じる個性が感じられるが、ネックのバインディングやピックガードのベツ甲は全くの独創的な作りだ。ボディ材の選択にも気が使われており、とにかく豪華に仕上げられている。

ピックアップはポールピースがカバーに隠されたハンパッキング・タイプが2個装備されている。

この「HS-A2」と似たボディ・シェイプを持った「BB-1」ベースもあり、ともに人気の高いモデルだ。

●「HS-1」 ¥80,000



「マッド・キャッツ（気違い猫）」のニックネームを持つH・Sアンダーソン・ブランドの中でも人気の高いモデル。

スタイリングは、フェンダー・テレキャスターを土台にしているが、ブリッジなどにH・Sアンダーソンのオリジナルティが生かされている。ブリッジは1弦、1弦独立して調節でき、この点はオリジナルのテレキャスターよりこちらに軍配があがるだろう。また、フロント・マイクのコントロールもオリジナルより簡単と、長所は多い。

トラ目模様のボディの木目も何となくユーモラスだ。

コピー・モデルが土台になっているが、独創性が豊かであり、完成度は特に高い。

CAMEL

昨年あたりから、注目を集めはじめたニュー・ブランドのひとつ。

ギブソン、フェンダーのデッド・コピー・モデルが中心だが、現在までのところモデル数も少なく、レスポール・スタンダード、フェンダー・ストラトキャスター、テレキャスターの3種がメインになっており、それだけキメの細かい製作工程と仕上げが生かされている。ベース・ギター・モデルも開発されており、ミドルからハイ・プライスへのモデル・バリエーションで統一しているのもブランドの特徴に数えられる。

ネーム・バリューとしてはまだ日の浅いこともあって今一歩だが期待できるブランド。

●キャメル「CLP-800」 ¥80,000



ギブソン・レスポール・スタンダードのデッド・コピー・モデル。

ヘッド・シェイプからボディに至るまでオリジナルの持つ曲線を忠実にコピーしており、ボディ表面の削り出し加工にヴォリューム、トーン・コントロールの取り付け角度、ネックのジョイント部など特筆ものだろう。

白蝶貝のポジション・マーク、牛骨のナットなど、実に細かい点まで手が行き届いている。ボディ表面はメイプル単板、裏はマホガニー、ネック、指板は各々マホガニー、ローズウッドというのが主な仕様。

Jojo

このブランドも、この1~2年間の間にメキメキと名を上げてきたブランドのひとつ。やはりギブソン、フェンダー、リッケンバックナーなどのコピー・モデルを中心にシリーズ構成され、中・高級品に主力が置かれていたが、最近になって、ロウ・プライスのシリーズも製作開始している。ロウ・プライスのものにも模様なセンスでクオリティの高さが導入され注目を集めている。

ストラトキャスター・モデルにハーフ・トーンがワン・タッチで出せるようにした5段切替のスイッチを採用したのもこのブランドが最初だ。

●ジョーディー「JST-60N」 ¥60,000



ハーフ・トーンを楽に出せるようにした5段切替スイッチ付きのストラト・モデル。メイプル・ワンピース・ネック、ホワイトアッシュまたは、ハードメイプルの単板ボディ。オールド・モデルを意識した、といった点はないが、コスト・パフォーマンスの高い内容に作り上げられている。この他に、レスポール・スタンダード、SG、TV、ES-335などのモデルもある。

hearby

中堅クラスのモデルを中心にシリーズ構成されたブランド。以前は「R・Kハービー」の名だったが最近では「ハービー」に改名。プライス・ゾーンが一定のレベルに限られており、我々選り側としては的を絞やすい。

品質的にはかなりの水準が維持され、安心して他人にもすすめられるブランドだ。

●ハービー「LG-650」 ¥65,000



レスポール・モデルのコピーだが、このワン・ランク下に「LG-490」があり、プライスごとにキチンと差がうち出されているのもこのメーカーの几帳面さを裏付けている。「650」のネックはマホガニー、「490」はナットの、各々セットネック。ピックアップも使い分けられており、各々のモデルの特性を活かしている。

ESP

ハンドメイドのモデルを中心に手がけているブランドのひとつで、プロ・プレイヤーからの信頼度は高い。それだけに、価格的には十分なものの、それ以上にシッカリしていることは間違いない。

オリジナル・モデル、コピー・モデルともに、リペアー・ショップを構えているメーカーの作品だけに、実に細かい点まで行き届いている。特に、仕上げの細かさ、塗装、指板、フレットなどの最終処理にはクラフトマン・シップそのものが感じられる。

●「ジャンゴ・モデル」 ¥185,000~



一見不可思議なボディ・シェイプを持っているが、ちゃんと音響工学に基づいて設計されているという。ボディの材質は、メイプル・トップ、マホガニー・トップ、メイプル、マホガニー・ネック。ハンパッキング・マイクが2個装備され、受注生産方式を採用している。ナビゲーターの製作スタッフの長年の経験と技術力がモノをいうモデルだろう。

●「トロッコ」モデル ¥300,000~



外見はギブソンのセミ・アコースティック・タイプの感じを受けるが、実はセミ・ソリッド構造のモデルで、メイプル単板からの削り出しになっている。オリジナル・ハンパッキング・ピックアップが2個装備され、さらにマイク・カバーは手作りになっているとい